

特集 歌唱指導Q&A

会員の皆様から歌唱指導について質問が寄せられました。ここに掲載したものは、会員の方が中学校で実践されてきたことや合唱指導に堪能な方からいただいた回答です。指導の参考としてご活用ください。

① ♪声の小さい生徒には♪

他の人との比較ではなくて、自分の中で出る一番大きな声を目標にさせたい。まずは、いい声でなくても、音の高さが合わなくてもよいので、しっかりとした声が出ることを目標にさせる。

《小さい声の原因として考えられること》

◆**恥ずかしい、自信がない**・・・クラスの雰囲気が前向きの空気になるように心がける。仲間の中で間違っても大丈夫と思える状況を作り出す。

◆**技能的に大きい声の出し方が分からない**

ア 息の流れを作らせる。できるだけ太い息をお腹の底から出せるようにトレーニングし、その息の流れに乗せて声を出すようにする。地声でも裏声でも息漏れでも気にしないようにする。

イ 息をたくさん吸うようにする。たっぷり吸ってたっぷり吐く。その息に乗せて単音で音量の確認をする。

② ♪怒鳴り声、かすれ声、声量の少ない生徒には♪

【怒鳴り声を直すには】

ア まず、よい声、きれいな声のイメージを持たせる。→範唱をしたりCDを聴かせたりせたりする。

イ 発声の指導をする。→息の流れ、頭声・胸声、口形、喉の奥の開閉、共鳴など。

- ・ 発声はお腹からの息の流れをしっかりつくるのが大切。声の当て場所を示す。「のどの奥を開ける」という言葉は、逆に喉に力が入ったり声が奥に引っ込んだりすることがあるので要注意。「口は縦に開けるよ」「ミッキーになってみよう」「頭でっぺんから声を出してみよう」と問いかけてみる。
- ・ アルトパートなど地声のひどいときは、「声に空気を混ぜてみよう」と問いかけてみる。地声を無理に裏声にしてしまうと、蚊の鳴くような声になるので、地声のまままで空気を混ぜて柔らかい声にしていく。Hum. Uh. から、Ahに変えていく。喉を開けて響きを感じながらロングトーンをする。

【かすれ声を直すには】

- ・ 息もれの声は、お腹からしっかり息を吐くことを意識させる。息の的が大きくなっていることが多いので、声の方向性をはっきり意識させる。高い声を思いきり出させ、そのイメージで歌う。ひどい場合は、ポリープができていいることもあるので、受診を勧める。

【頭声を維持して声量を上げるには】

- ・ 思いきり高い声をお腹の底から声にする。高い声は息漏れがしにくいので、高い声でトレーニングをし、徐々に低い声にしていく。

③ ♪音が聞き取れない、音程がずれる生徒には♪

自分の音がずれていることが分かる生徒には、「どこでどうずれるのか」「なぜなのか」を考えさせ、具体的な方策を考える。終始ずれてしまう生徒には、根気よく個

別指導をする。音域が低かったり狭かったりする場合が多いので、出しやすい音を探してあげ、そこから音をはめることを根気よく行う。歌うことが好きな生徒で、音程のずれが目立たない場合は、最初は無理に矯正しないようにする。

音域の狭い生徒には、教師がその生徒の音域を知り、出ないところは無理に出さなくてもよいことにする。

④ ♪口が開かない生徒には♪

恥ずかしさや自信のなさから口が開かない場合は①を参照。口の前が開いていなくても、口の中が開いていてよい響きであれば、無理に開けさせない。口が開けないことよりも、言葉がはっきりしないことが問題となることもあるので、言葉を意識させることで、口が開いてくる場合もある。

⑤ ♪男声パートで楽譜より1オクターブ低く歌う生徒には♪

音程が正しければ、無理に矯正しないでそのまま歌わせる。他の子には出ない素晴らしい声だと称賛する。

⑥ ♪気持ちを込めて歌わせるには♪

歌詞の分析をさせる。その中で大切な単語や文を考えさせる。そこに付けられている強弱記号などと歌詞とのかかわりを考えさせる。その音やフレーズを意識させて歌うようにする。

⑦ 歌唱テストの方法

○ 歌唱テストの目的や授業内容に合った方法を考えて行う。

- ・ 「赤とんぼ」など短い曲ならばアカペラで一人ずつ行う。正しい音程やリズムだけでなく、ふさわしいテンポ感やフレーズ感を見取ることもできる。
- ・ 合唱の授業では、時間的に一人ずつ行うことは難しい。各パート一人ずつの重唱の形で行ったり同パート二人で行ったりする。評価の観点によって方法を選択する。
- ・ あえて歌のテストを行わず、小テスト（1フレーズずつ歌うなど）を積み重ねて評価する方法もある。

○ テスト中の歌を他の生徒が鑑賞することは・・・。

これまでの学習内容によって決める。完成度が高い状況まで至っていれば鑑賞させる。他の生徒の鑑賞に堪えうるものや、生徒の気持ちがどんな状況でも歌えるところまで心技ともに育っている場合は、鑑賞させる。そこまで達していない場合は、他の生徒はプリントなどの課題を行う。

⑧ 特別支援学級での歌唱指導

基本的に通常の学級と同じである。自閉症などの生徒は、響きのある声になりにくいのが、範唱をまねさせることで、少しずつ改善することができる。音程の合わない生徒も見受けられるが、気持ちよく歌うこと、その曲に込められた思いを知って歌うこと、自分の気持ちを込めて歌うこと、良い声で歌うことなどを大切にして指導する。

- ・ 歌遊びや動きのある曲を取り入れていくが、能力が高い場合は、本格的に指導したほうがモチベーションが上がる場合がある。

♪平成31年度 総会・研修会・懇親会のご案内♪

【日時】 8月31日(土)10:00 総会 10:15 研修会・情報交換 12:45 懇親会 【会場】 名古屋音楽大学
【講師】 名古屋音楽大学学長 佐藤 恵子先生（ピアノ） 同専任講師 上田 仁先生（トランペット）
【内容】 「ピアノ・トランペットの演奏とお話」（仮題）

＝編集後記＝

■今号で特集した歌唱指導に関する回答は、内容によっては小学校でも活用できます。授業等でお尋ねになりたいことがありましたら、事務局までお寄せください。■「めいおんの会」は将来を見据え、来年度から同窓会事業の一つとして活動することになりました。基本的な運営等に変更はありません。本会をご存じない同窓生の教員に広くお知らせするとともに、多くの方に入会していただく機会になればと思います。今後とも皆様のお力添えをお願いいたします。(ゆ)